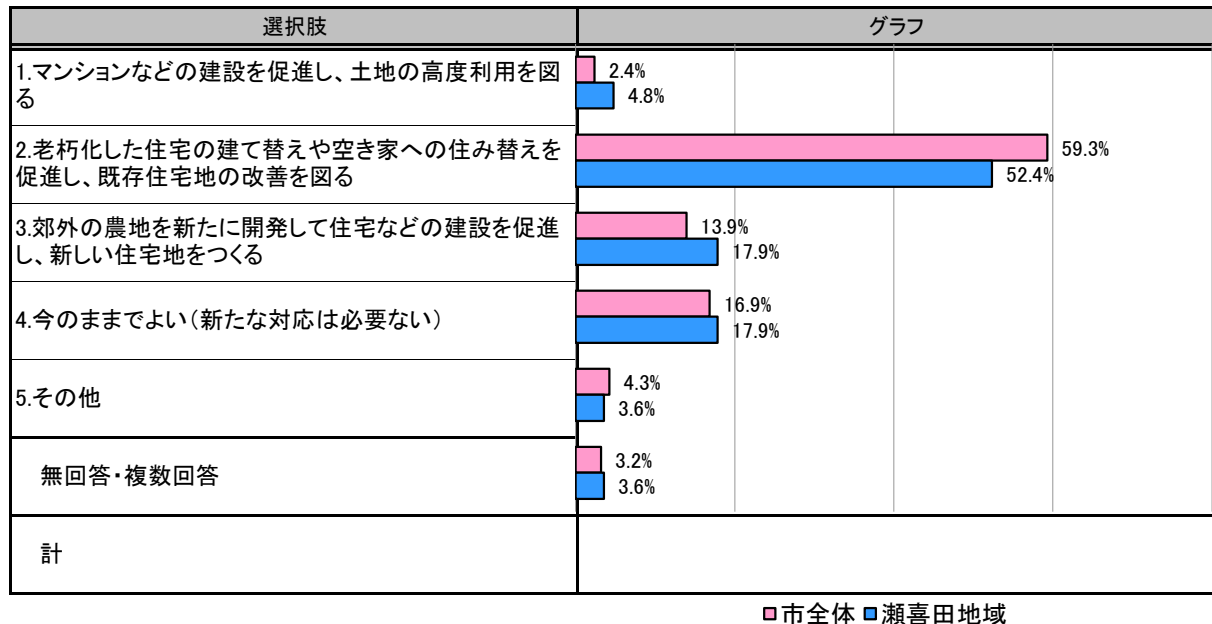


Ⅲ. 将来(おおむね20年後)の名護市全体のことについてお尋ねします。

問4 今後、特に重要だと思うものはどれですか。[それぞれの項目で1つに○印]

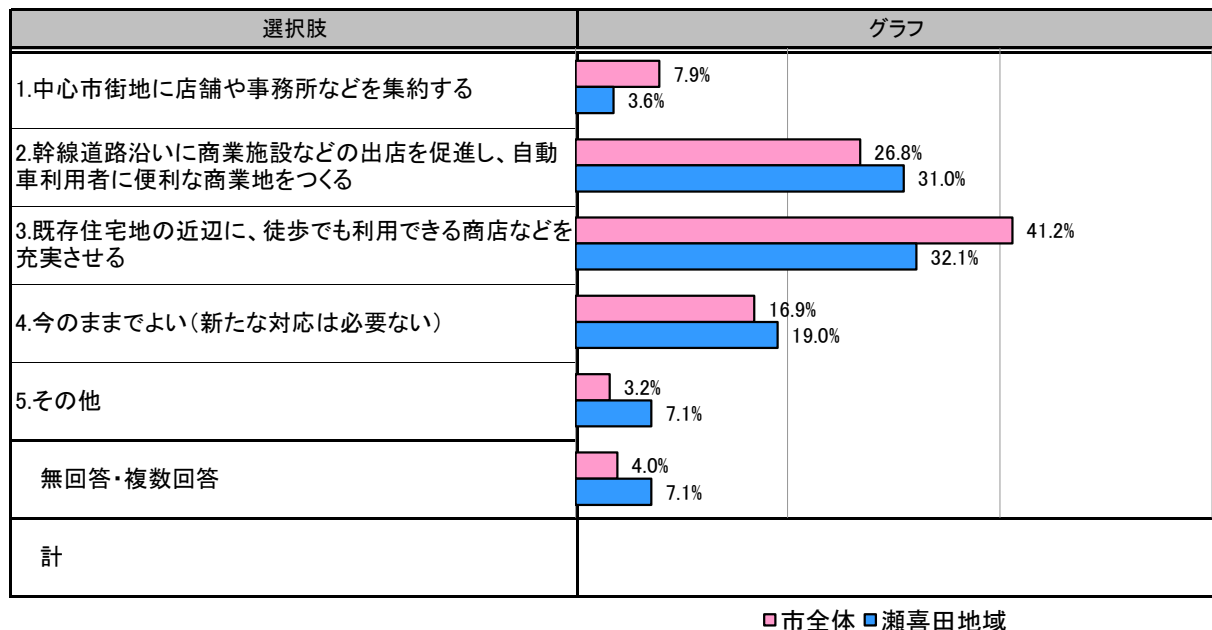
- ◆「老朽化した住宅の建て替えや空き家への住み替えを促進し、既存住宅地の改善を図る」が最も多く52.4%と半数以上を占めている。
- ◆市全体と概ね同様の傾向にあるが、「郊外の農地を新たに開発して住宅などの建設を促進し、新しい住宅地をつくる」が「今のままでよい(新たな対応は必要ない)」と同率となっている。

【住宅地について】



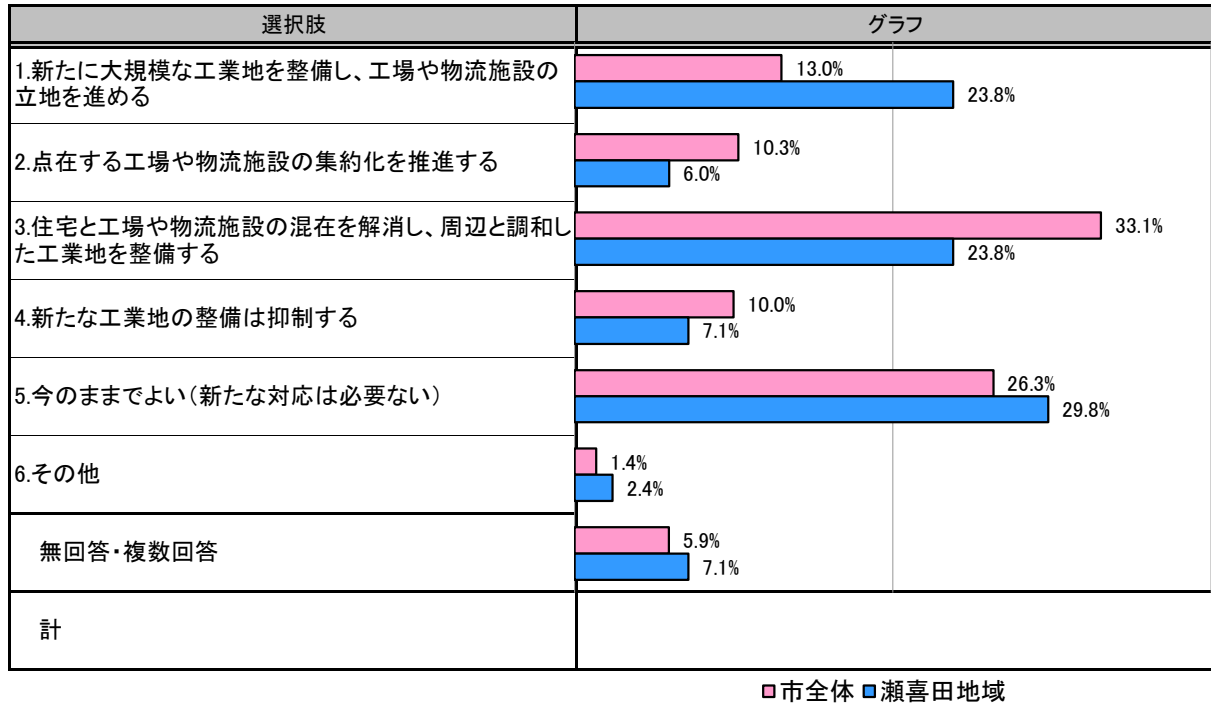
- ◆「既存住宅地の近辺に、徒歩でも利用できる商店などを充実させる」が32.1%と最も多く、次いで「幹線道路沿いに商業施設などの出店を促進し、自動車利用者に便利な商業地を作る」が31.0%となっている。
- ◆市全体と同様の傾向にある。

【商業地について】



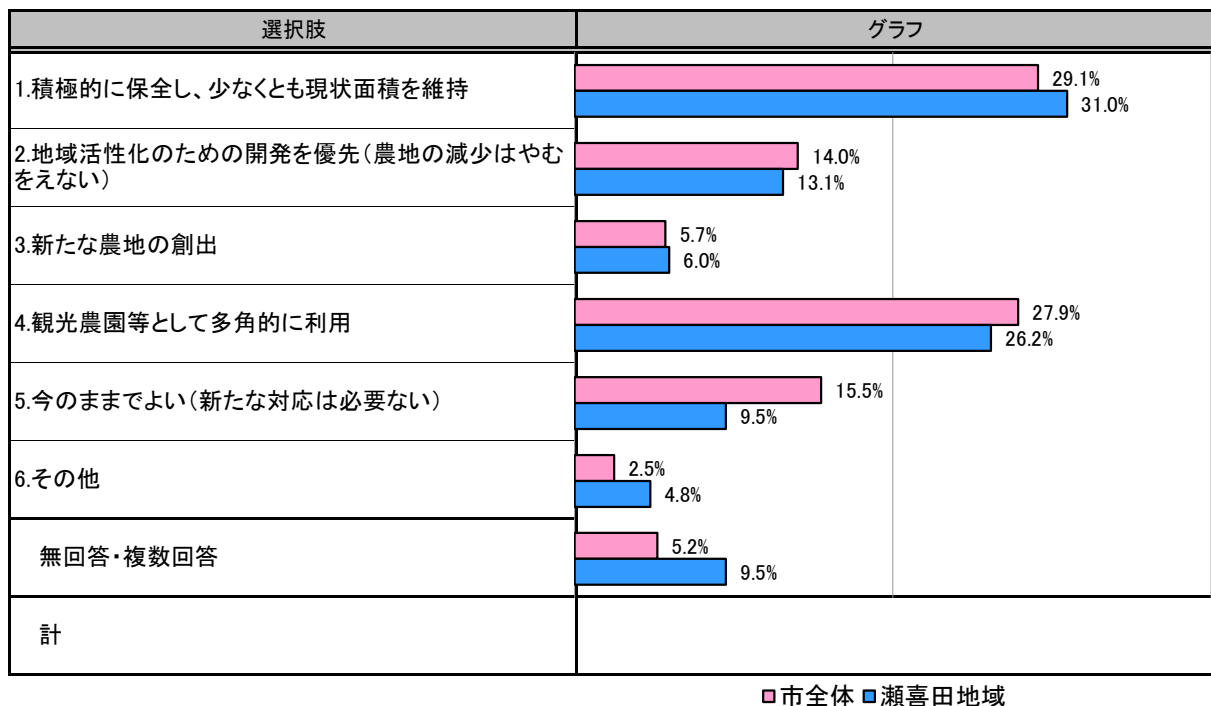
- ◆「今のままでよい(新たな対応は必要ない)」が29.8%で最も多く、次いで「新たに大規模な工業地を整備し、工場や物流施設の立地を進める」と「住宅と工場や物流施設の混在を解消し、周辺と調和した工業地を整備する」が23.8%で同率となっている。
- ◆市全体と比較し、「住宅と工場や物流施設の混在を解消し、周辺と調和した工業地を整備する」が低く、「今のままでよい(新たな対応は必要ない)」よりも下位となっている。

【工業地について】



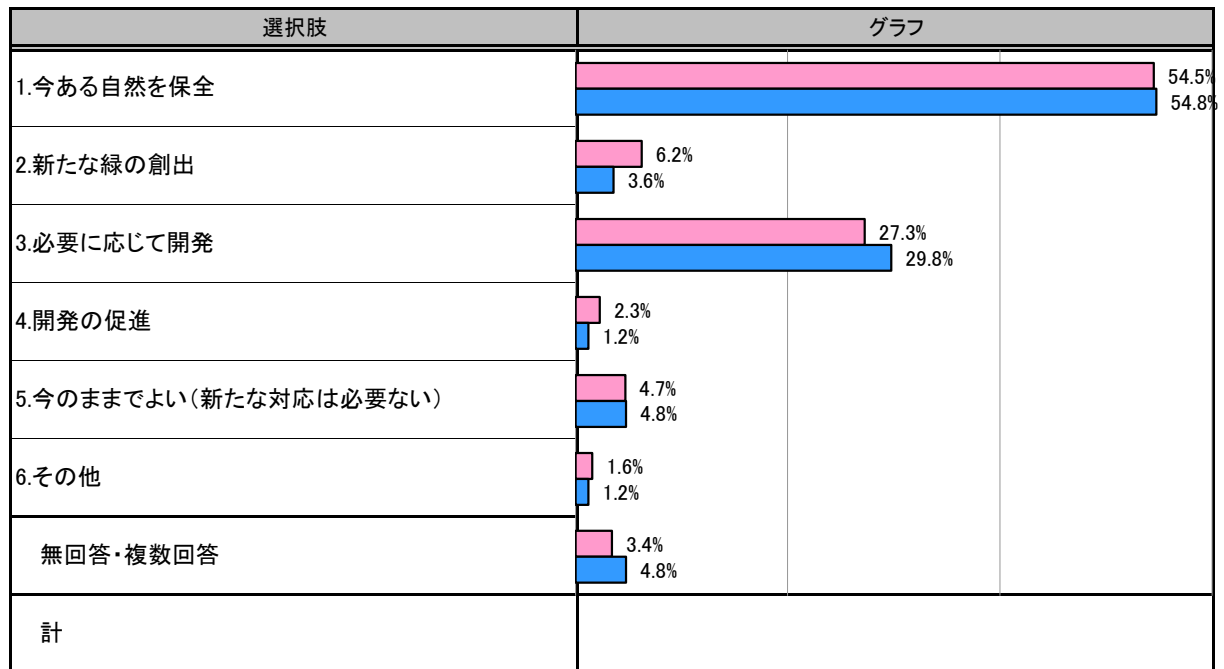
- ◆「積極的に保全し、少なくとも現状面積を維持」が31.0%と最も多く、次いで「観光農園等として多角的に利用」が26.2%、「地域活性化のための開発を優先(農地の減少はやむをえない)」が13.1%の順となっている。
- ◆市全体と概ね同様の傾向にあるが、「地域活性化のための開発を優先(農地の減少はやむをえない)」が「今のままでよい(新たな対応は必要ない)」よりも上位となっている。

【農地の保全・活用について】



- ◆「今ある自然を保全」が最も多く、54.8%と最も多く、次いで「必要に応じて開発」が29.8%の順となっている。
- ◆ 市全体と同様の傾向にある。

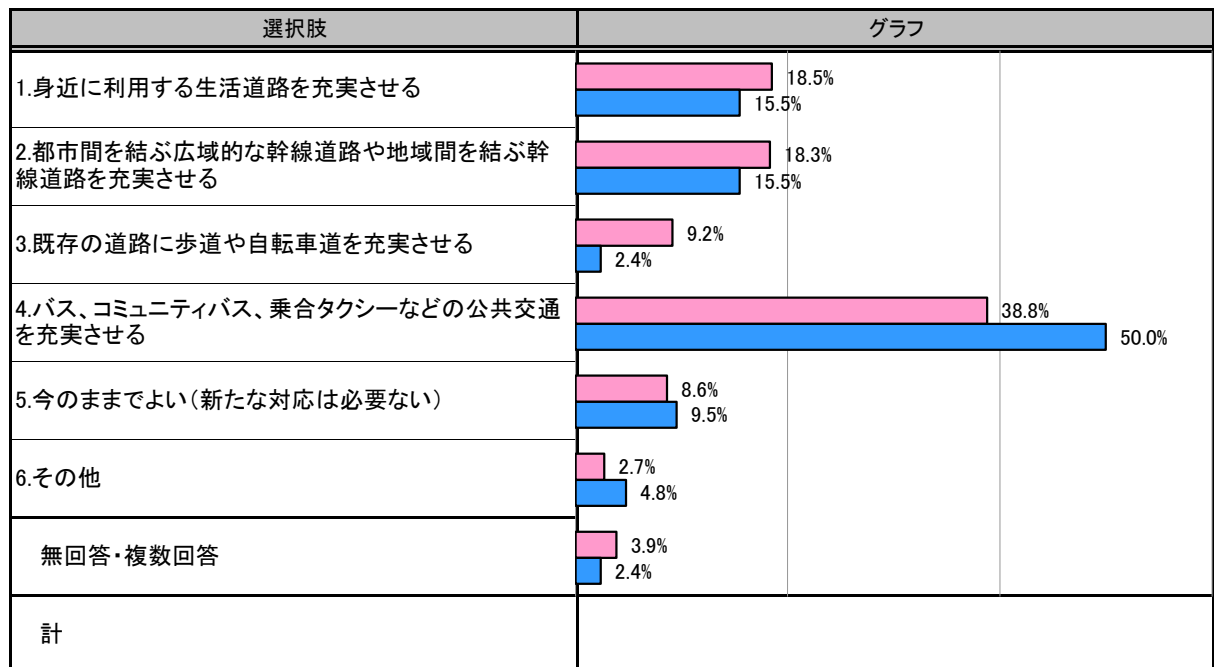
【森林や海、河川などの自然について】



□市全体 ■瀬喜田地域

- ◆「バス、コミュニティバス、乗合タクシーなどの公共交通を充実させる」が最も多く50.0%と半数を占めている。
- ◆ 市全体と同様の傾向にある。

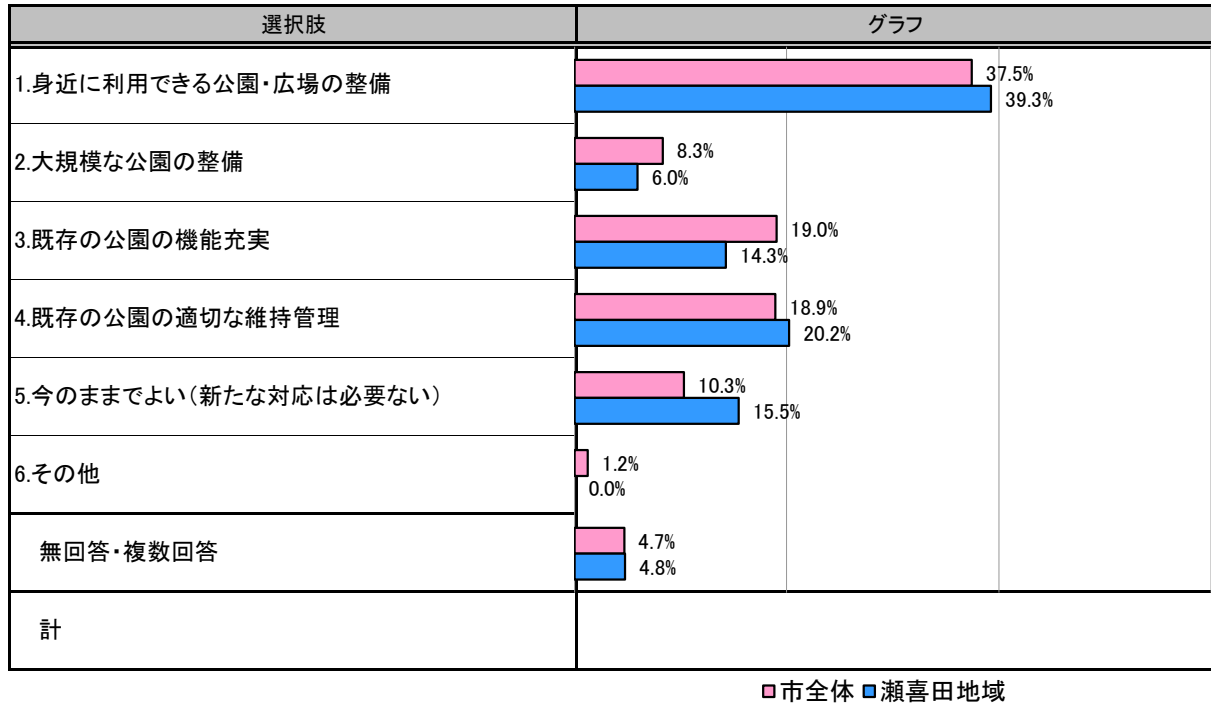
【道路・交通について】



□市全体 ■瀬喜田地域

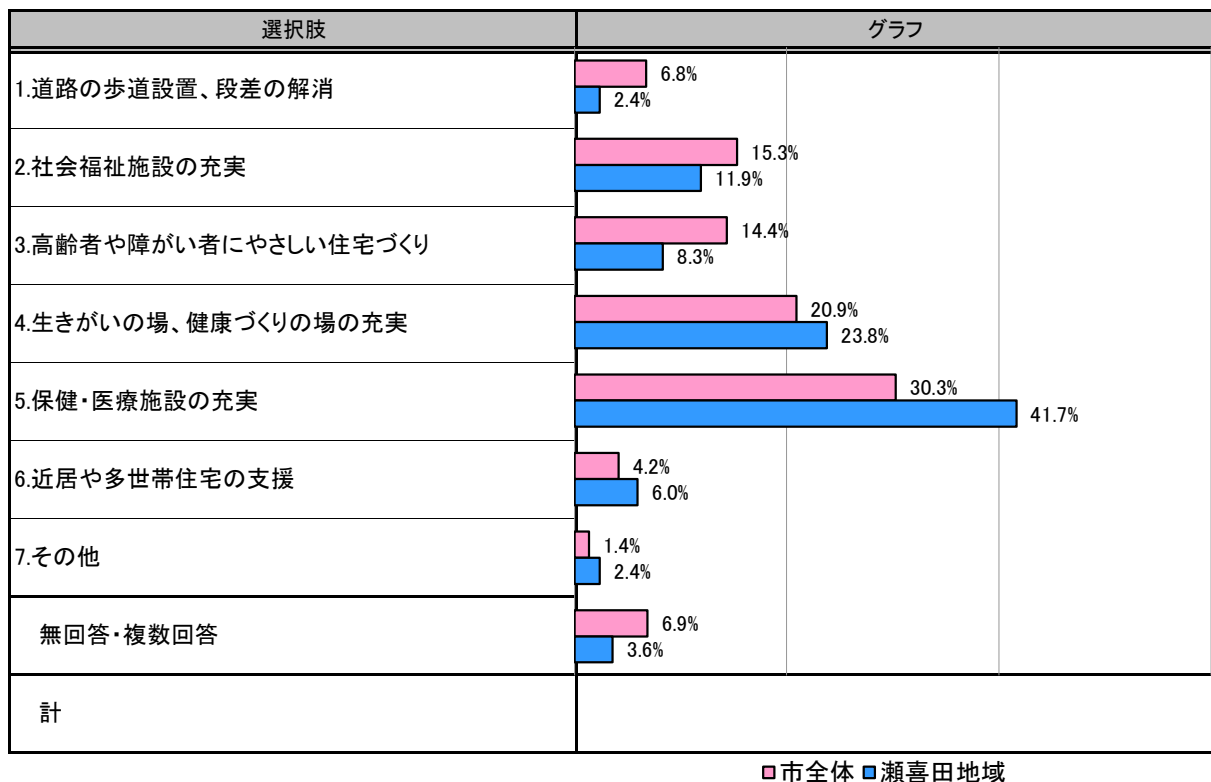
- ◆「身近に利用できる公園・広場の整備」が39.3%と最も多く、次いで「既存の公園の適切な維持管理」が20.2%、「今のままでよい(新たな対応は必要ない)」が15.5%の順となっている。
- ◆市全体と比較して、「今のままでよい(新たな対応は必要ない)」が高く、「既存の公園の機能充実」や「既存の公園の適切な維持管理」よりも上位となっている。

【公園・緑地等について】



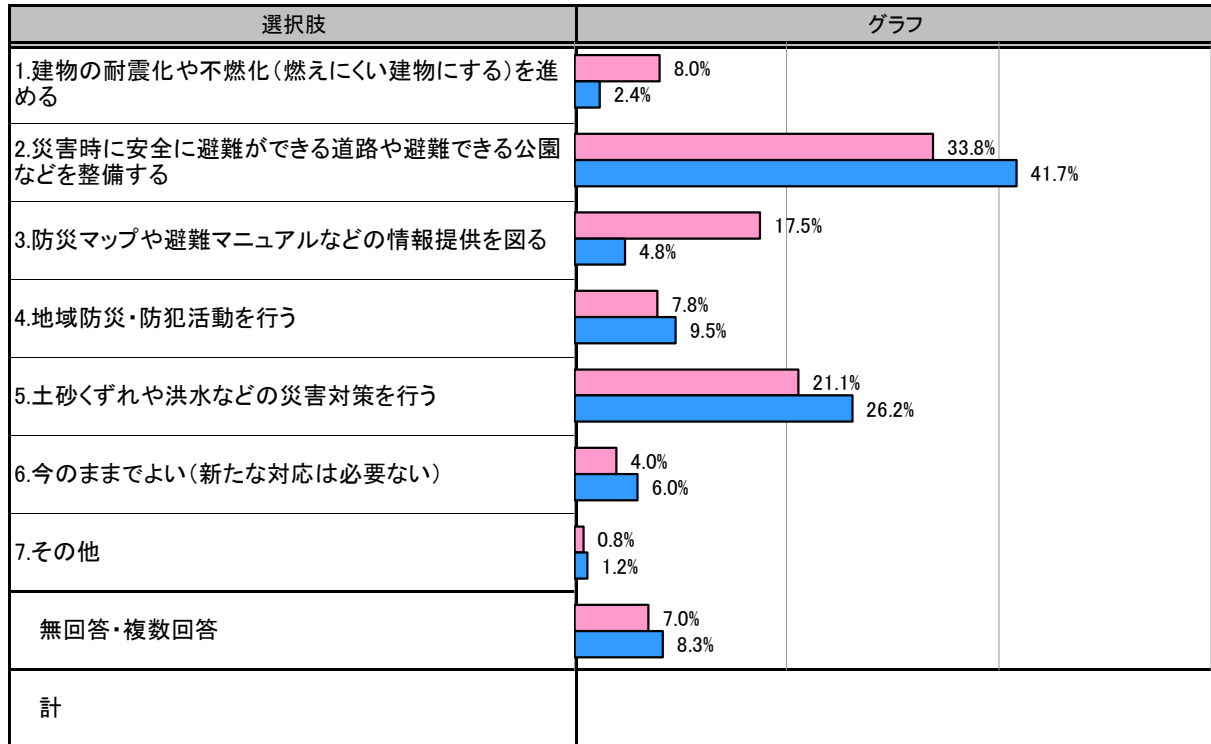
- ◆「保健・医療施設の充実」が41.7%と最も多く、次いで「生きがいの場、健康づくりの場の充実」が23.8%、「社会福祉施設の充実」が11.9%の順となっている。
- ◆市全体と同様の傾向にある。

【高齢社会への対応】



- ◆「災害時に安全に避難ができる道路や避難できる公園などを整備する」が41.7%と最も多く、次いで「土砂くずれや洪水などの災害対策を行う」が26.2%、「地域防災・防犯活動を行う」が9.5%の順となっている。
- ◆市全体と比較して、「防災マップや避難マニュアルなどの情報提供を図る」がかなり低く、「地域防災・防犯活動を行う」よりも下位となっている。

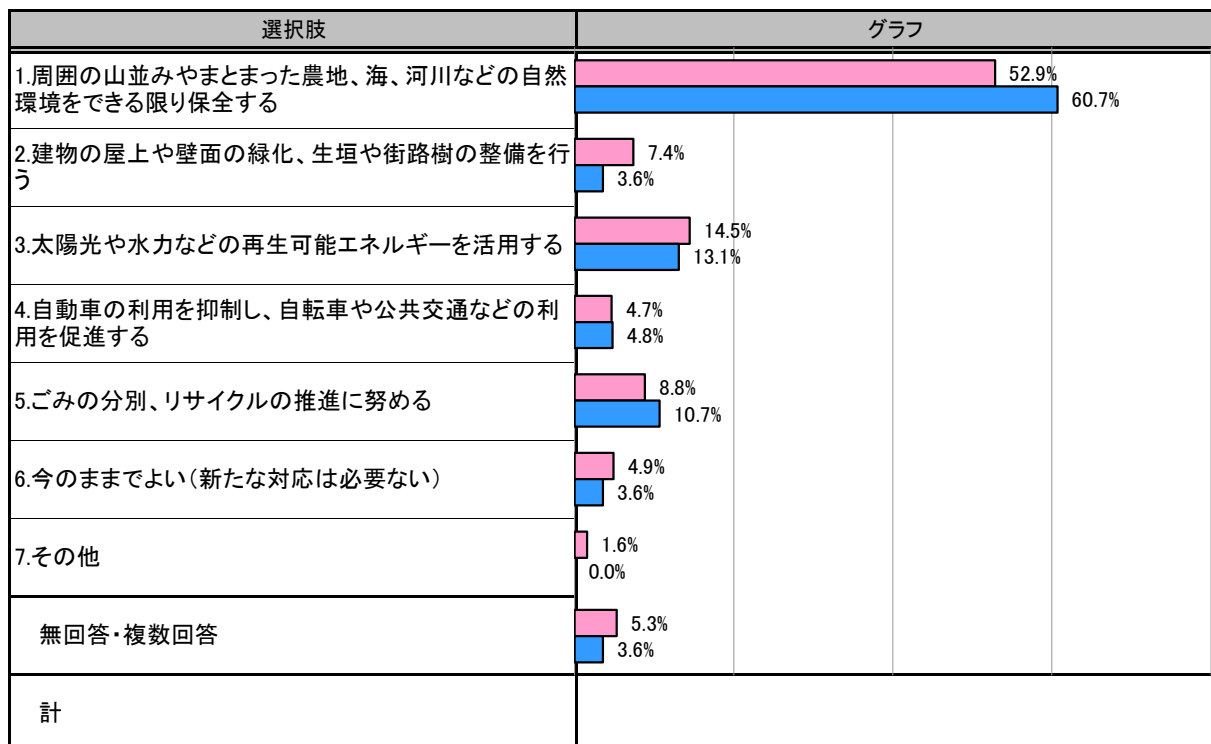
【防災のあり方】



■市全体 ■瀬喜田地域

- ◆「周囲の山並みやまとまった農地、海、河川などの自然環境をできる限り保全する」が最も多く、60.7%と全体の半数以上を占めている。
- ◆市全体と同様の傾向にある。

【環境のあり方】



■市全体 ■瀬喜田地域